

「がんばろう！日本」を合言葉にウォーキングで阿蘇から元気を発信

▶ 第1回大阿蘇元気ウォーク2011



「第1回大阿蘇元気ウォーク2011」が10月29日、30日の2日間、阿蘇神社横駐車場をスタート地点として開催され、市内外から約1,000人が参加しました。

この催しは、九州新幹線開通を機に、阿蘇地域のさらなる活性化と国際化を目指し、観光の啓発と市民の健康、スポーツの振興を図るために企画され、昨年まで開催されていた「阿蘇市健康ウォーキング」と一体化して阿蘇市健康づくりの郷推進委員会主催により開催されたものです。

コースは気軽に歩ける「古墳群5kmコース」から、カルデラ内一円を歩く「なべづる歴史探訪40kmコース」

など両日併せて8種類のコースを設定。悪天候の中での開催となりましたが、雨にも関わらず子どもから高齢者まで、思い思いのペースで阿蘇路を楽しみながらゴールを目指しました。

サツマイモ手渡し交通安全呼びかけ

▶ 宮地保育園児による交通安全キャンペーン



宮地保育園児23人と保護者でつくる交通安全クラブ「みやじカンガルークラブ」は10月27日、阿蘇警察署で交通安全教育の一つとしてキャンペーンを行いました。

初めに、阿蘇地区交通安全教育推進協議会の山部講習員による交通安全教室が行われ、園児は楽しみながら熱心に取り組みました。

その後、老人会（若葉会、西2区寿会、宮古会、長寿会、分区老人クラブ）の皆さんと園児たちが苗植えし収穫したサツマイモ200個と、似顔絵と親子で考えた交通安全標語が書かれたメッセージカードを、国道を走るドライバーに手渡し「安全運転お願いします」と呼びかけました。

交通指導員が自転車運転指導講習を受講

▶ 阿蘇市交通指導員講習会



阿蘇市交通指導員講習会が11月16日、一の宮体育館で開催され、交通指導員など約30人が参加しました。

これは、毎年、阿蘇市内の各小学校で行われる交通安全教室に参加している交通指導員が、小学生に対する適切な自転車運転指導を習得することを目的としたもので、今回、初めて開催されました。

この日、講師である（財）熊本県交通安全協会の職員から、座学講習、自転車による右折方法、自転車2人乗りの危険性などの指導を受け、自転車運転指導の難しさや重要性を学びました。

▲自転車2人乗りの危険性を体験する交通指導員



いい本に出会えた。子どもの心豊かに

▶ 「図書館まつり」でお話の世界楽しむ



表彰式の様子

▶ 審査の様子。審査員は感想文の対象となった本を読み、厳正な審査にあたりました。

読書週間にちなみ、11月5日、第7回図書館まつりが農村環境改善センターで行われました。

スタッフによる切り紙や作り物で装飾された会場では、平成23年度阿蘇市読書感想文コンクール表彰式、童話発表会が行われました。



また、おはなしボランティア「アップル」の皆さんによるおはなし会や、古本リサイクル、竹細工の体験コーナー、人形劇が行われ、家族連れなど多くの人で賑わいました。

碧水小5年	山田小5年	波野小3年	坂梨小3年	宮地小3年	○ 童話発表者	波野中2年	坂梨小2年	坂梨小1年	(図書館長賞)	阿蘇中央高校1年	一の宮中3年	阿蘇北中2年	阿蘇北中1年	尾ヶ石東部小6年	碧水小5年	内牧小4年	内牧小3年	内牧小2年	宮地小1年	(阿蘇市教育長賞)	社会人	阿蘇北中3年	阿蘇西小6年	阿蘇市長賞	
菊池	藤田	岩下	首藤	津留	加藤	福留	吉田	江藤	笠野	佐藤	村上	中川	草野	和田	吉田	吉岡	木村	鶴本	小糸	小糸	江藤	小糸	小糸	小糸	小糸
詩織	大生	香奈	鈴	萌乃	翼	夏野	有沙	沙希	綾香	涼香	満菜美	英恵	太一	望来	早希	大熙	勝彦	歩美	咲月	裕子	裕子	裕子	裕子	裕子	裕子

〔阿蘇市読書感想文コンクール〕市内各小・中学校から選ばれた感想文、また高校生・一般部門は応募により寄せられた感想文により、入賞作品が選ばれました。なお選定にあたっては、5名の審査員(中川實、西村正敬、田尻明子、宮本誠、石本明史)が審査を行いました。

5年800メートルで県1位 高津浩揮くん

▶ 熊日学童五輪陸上



▶ 先頭を走る高津くん

10月22日、県民総合運動公園陸上競技場で行われた第37回熊日学童五輪、陸上競技において、小学5年男子800メートルに出場した、碧水小学校の高津浩揮くんが、見事、第1位に輝きました。

本大会は、男女32種目に79チームから1002人が出場する大きな大会で、県内から集まった強豪の中、あそりくクラブに所属する高津くんが2分35秒83という記録で優勝したものです。まだまだ5年生の高津くん、今後の活躍も期待されます。

今度は運動会で盛り上がりよう！

▶ なべづる運動交流会



▲ 選手宣誓の様子

今年7月、西小園、西湯浦、湯浦、南宮原からなる、なべづる地区の若者48人で結成した地域おこし団体なべづる大学(今村隆孝学長)の運動交流会が11月13日開催され、なべづる大学生や地域の人たちが参加しました。

園田雅邦さんが選手宣誓を行った後、徒競走、尻圧ゲーム、人探しなど13の競技があり、お昼は全員で豚汁を囲み賑わいました。

なべづる大学生の皆さんは9月に、パンジーのプランター500個をつくり、なべづる地区内に花いっぱい運動も展開されています。